

## 親子で食の大切さを学ぶ



8月7日、しまとびあスカイセンターで、小松地区親子食育教室が開催されました。夏休みに、明新小学校6年生の親子を対象に小松婦人会の主催で、昭和60年から実施しているものです。食べることの大切さと作ることの楽しさを親子で体験し、健康的な食習慣を身につけることを目的としています。

今回のメニューはトウモロコシやカボチャなど夏野菜がたっぷり入ったカレーライスと野菜サラダ、オレンジゼリー。子どもたちは栄養バランスのよい食事をとることはもちろん、家族で囲む食卓の大切さを感じたようです。

## 大島っ子の夏体験

（財）自治総合センター自治宝くじの助成を受け、周防大島の子どもたちが夏のプログラムを満喫しました。「周防大島少年の船洋上セミナー」が8月22日から2泊3日の日程で開催され、町内の小学6年生、61名が参加。子どもたちは大島商船高等専門学校の大島丸に乗船し、船内研修や船内泊、野外炊事や七宝焼の実習、大和ミュージアムや宮島の見学等、様々な体験をしました。



## 歌を通じてふれあいを

8月28日、橘総合センターで第11回ふれあいコーラス発表会が開催されました。山口県老人クラブが推進し県内各地で開催されているもので、今年は町老人クラブ連合会の引き受けで開催され、萩市や防府市など県内各地から13団体約500人が参加。町内からも「童謡を歌う会」（久賀）、「花のサークル」（橘）が参加し、息のあった合唱を披露しました。オープニングは、久賀保育園の園児が元気な和太鼓演奏で盛り上げました。

聞き慣れた歌に会場では歌詞を口ずさむ方もあり、歌って聞いて楽しめ発表会となりました。



▶ オープニング



▲花のサークル

童謡を歌う会 ▶

